科研費

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 5 月 2 1 日現在

機関番号: 22604 研究種目: 挑戦的萌芽研究 研究期間: 2016~2019 課題番号: 16K12535

研究課題名(和文)情報推薦の適用範囲を広げる価値観ユーザモデリングに関する研究

研究課題名(英文)Study on Personal Values-based User Modeling for Extending Applicability of Recommendation

研究代表者

高間 康史(Takama, Yasufumi)

首都大学東京・システムデザイン研究科・教授

研究者番号:20313364

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文):本研究は,ユーザの価値観をモデル化する手法を確立し,情報推薦の適用範囲を広げることを目的とする.価値観とは物事の優先順位に対する個人の考えであり,情報推薦の枠組みで考えればアイテムを評価する際のこだわりとみなすことができる.この考えに基づき,アイテム評価におけるユーザのこだわりを定量化し,情報推薦に適用することを目的とする.価値観モデリング,およびこれを利用した情報推薦手法について研究し,ロングテールアイテムの推薦などに有効であることを示した.ユーザの行動を推薦する「行動推薦」へ情報推薦の枠組みを拡張することにも取り組み,健康増進や観光などを対象とした推薦システムの開発などを行った.

研究成果の学術的意義や社会的意義 現状の情報推薦技術では,少人数のユーザにしか購入,高評価されないロングテールアイテムの推薦は困難であることが知られている.また,健康増進のためのレシピ推薦や,エネルギー問題解決のための省エネ活動推薦などに情報推薦の適用範囲を拡大するためには,ユーザの行動変容を促す必要がある.すなわち,ユーザがこれまでとってきた行動とは異なる行動を推薦し,かつその推薦を受け入れてもらう必要がある.これは,ユーザの過去の行動からその嗜好を推測し,推薦アイテムを決定する従来アプローチでは対処が困難である.本研究で取り組んだ価値観モデリング,行動推薦に関する研究成果はこれらの課題解決に貢献することが期待できる.

研究成果の概要(英文): This research aims to establish the method for modeling users' personal values, which will contribute to the extension of the applicability of recommendation. Personal values are defined as one's judgment of what is important in one's life. As a more suitable and quantitative definition for the recommendation, we have proposed the rate matching rate (RMRate). In this research, we studied the method for modeling users' personal values using RMRate and the recommendation methods based on the obtained user models. The experimental results show the proposed methods are effective for long-tail item recommendation. We have also studied to extend the target of recommendation from item recommendation to action recommendation. We have developed several recommender systems for health promotion and sightseeing.

研究分野: 情報推薦

キーワード: 推薦システム 価値観 健康増進 観光

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

1.研究開始当初の背景

情報推薦の応用は進んでいるが,主にオンラインショッピングなどでの利用が主流である.商品や書籍を推薦対象アイテムとして,ユーザの嗜好をその行動履歴などから推測し,ユーザが好むであろうアイテムを推薦する.現状の情報推薦における課題として,少数の人気アイテムによるバイアスが挙げられる.これは,多数の人に購入,高評価されるアイテムが存在し,これを推薦することで実験では高い推薦精度が得られることなどを意味する.一方で,少人数のユーザにしか購入,高評価されないロングテールアイテムの推薦は困難であることが知られている.推薦システムの役割が,ユーザ自身では探せない適合アイテムの発見を支援することであることを考えると,人気アイテムによるバイアス,それによるロングテールアイテム推薦の困難さは解決すべき課題である.

また,健康増進のためのレシピ,メニュー推薦や,社会としてのエネルギー問題解決のための省エネ活動推薦などに情報推薦の適用範囲を拡大することを考えると,ユーザの行動変容を促す必要がある.すなわち,ユーザがこれまでとってきた行動とは異なる行動を推薦し,かつその推薦を受け入れてもらう必要がある.これは,ユーザの過去の行動からその嗜好を推測し,推薦アイテムを決定する従来アプローチでは対処が困難である.

2. 研究の目的

本研究は,ユーザの価値観をモデル化する手法を確立し,情報推薦の適用範囲を広げることを目的とする.価値観とは物事の優先順位に対する個人の考えであり,情報推薦の枠組みで考えればアイテムを評価する際のこだわりとみなすことができる.この考えに基づき,アイテム評価におけるユーザのこだわりを定量化し,情報推薦に適用することを目的とする.

人気アイテムでないほど,それを選ぶ際にユーザのこだわりが強く反映されているとの仮説から,価値観の利用はロングテールアイテムの推薦に有効であることが期待できる.また,行動変容を促す推薦においては,ユーザが好むアイテムではなく,受け入れ可能なアイテムの推薦へのパラダイムシフトが必要であるため,価値観のモデル化による貢献が期待できる.

3.研究の方法

- (1) 価値観モデリング:価値観をモデル化する手法として,評価一致率を採用する.ユーザが投稿したレビューからモデル化する手法について研究する他,レビュー閲覧履歴からモデル化する手法についても研究する.オンラインレビューサイトにおいて,ユーザ全体に占めるレビュー投稿者は少なく,ほとんどのユーザがレビューの閲覧のみをしている場合が多いため,レビュー閲覧履歴からモデル化を可能とすることで,提案手法の適用範囲を拡大する.また,sentiment analysis やトピックモデリングなどの技術を利用することで,レビューテキストから評価属性や極性を抽出する手法についても研究する.
- (2) 価値観モデリングを利用した情報推薦手法:評価一致率を近傍ユーザ・アイテムの計算に用いる近傍ベースの情報推薦手法の他,行列ベースの情報推薦手法について研究する. SVD (Singular Value Decomposition)や NMF (Nonnegative Matrix Factorization) などの行列分解ベースの情報推薦手法は現在主流であり,推薦精度が高いことが示されているため,これらと同様のアプローチを利用可能とすることを目的とする.
- (3) ロングテールアイテム推薦:上記(1)(2)で開発した手法について,ロングテールアイテム推薦における有効性について検証するために,大規模データセットを用いた評価実験を行う.
- (4) 行動推薦:アイテムではなく,ユーザの行動を推薦する「行動推薦」へ情報推薦の枠組みを拡張する.健康増進など,行動変容を促進することを目的とした情報推薦システム,観光を対象とした情報推薦システムに関して研究する.

4. 研究成果

(1) 価値観モデリング

i番目のユーザが,アイテムの持つk番目の属性に対して持つ評価一致率(RMRate)は,以下の式で定義される.

$$\mathsf{RMR}_{ik} = \frac{\sum_{x_j \in I_i} \delta(p_{ij}, p_{ij}^k)}{|I_i|}$$

ここで, I_i はi番目のユーザが評価したアイテム集合, p_{ij} はユーザがj番目のアイテムに下した総合評価値の極性(好評あるいは不評), p_{ij}^k はk番目の属性に対して下した評価値の極性である. $\delta(x,y)$ はx,yが同じ値のとき 1,違うとき 0 を返す.ユーザが投稿したレビューから評価一致率を計算する場合,レビューに付与された総合評価値,属性評価値を利用する.これに対し,レビュー閲覧履歴から評価一致率を計算する場合には,総合評価値はレビュー閲覧者の行動,属性評

価値はレビュー投稿者による評価値を利用する.具体的には,ユーザはいくつかのレビューを閲覧し,最終的に購入するアイテムを決定するが,最終的に選んだアイテムを気に入った(好評)とみなす.また,参考になったレビューには例えば「いいね」などのフィードバックをすることを想定し,ユーザが参考にしたレビューに付与されている属性評価値の極性を利用する.ホテルレビューサイトのデータを用いてユーザ実験による評価を行った結果,レビューサイトが提供する満足度ランキングによる推薦と同等か,実験条件によっては推薦精度が上回る成果が得られた.また,以下の(3)と関連するが,満足度ランキングを用いた推薦よりも,人気のないアイテムを推薦可能であることを示した.

近年,総合評価値だけでなく属性評価値も入手可能なオンラインレビューサイトが多く存在するため,上述のモデリング手法の適用範囲は広いと考えるが,レビューテキストから属性,およびそれに対する評価極性を取得することができれば,適用範囲はさらに拡大することが期待できる.そのための基礎的検討として,既存のトピックモデリング手法によるユーザの価値観モデル構築の可能性に対する検証実験を行った他,トピックモデルを拡張し,評価に関する単語とその極性を抽出する手法についても研究を行った.

(2) 価値観モデリングを利用した情報推薦手法

アイテムの属性数をLとすると,各ユーザの価値観モデルはL次元のベクトルとして表現される.このベクトル間の類似度を相関係数などで計算することで,近傍ユーザベースの協調フィルタリングが利用可能となる.評価値行列の行をユーザベクトルとして用いる従来手法では,評価値行列のスパース性が問題となるが,評価一致率のベクトルでは値が 0 となる要素が少ないため,類似度計算可能なユーザ数が多いという利点がある.同様にアイテムも評価一致率のベクトルとして表現可能であるが,アイテムあたりのレビュー数はユーザあたりのレビュー数よりも多い場合が多いことが想定されるため,総合評価値が好評・不評の場合に分けてそれぞれ好評(不評)評価一致率を計算することで,より詳細なモデル化が可能となる.この場合,アイテムは2L次元のベクトルとして表現される.

ユーザ数をN,アイテム数をMとすると,ユーザ,アイテムを行,アイテムの属性を列とする行列としてユーザモデル M_U ($N\times L$),アイテムモデル M_V ($M\times 2L$)を求める.図 1 に示すように,これらに属性間の対応を表現する行列 M_R ($L\times 2L$)を組み合わせることでアイテムの予測スコアを求める手法を提案した.また, M_R を評価値行列から求める手法についても研究を進め,得られた行列の解釈可能性についても検討を行った.具体的には,予測スコアと実際の評価値の誤差に基づく目的関数を定義し,確率的勾配降下法を用いて学習する手法,アイテムの選好に関するユーザごとの順序関係に基づき確率的に学習する BPR(Bayesian Personalized Ranking)を利用した手法について提案した.複数のデータセットを用いた評価実験の結果,代表的な行列分解ベース推薦手法と同等の推薦精度を保ちつつ,人気アイテムに対する推薦パイアスが他の手法よりも少ないことを示した.

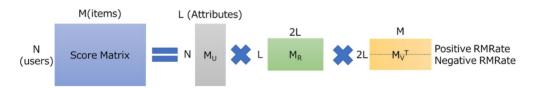


図 1. 行列ペースの提案推薦手法の概要

(3) ロングテールアイテム推薦

データセットを利用した評価実験で、推薦精度だけでなく推薦されたアイテムの多様性や、人気度についての評価を行った.アイテムの人気度は、そのアイテムを評価した人数や、レビューの投稿件数などから計算され、人気度の低いアイテムがロングテールアイテムに相当する.実験結果の一例として、上述の(2)で提案した行列ベースの推薦手法についての実験結果を図 2 に示す.縦軸は、各ユーザに 3 件のアイテムを推薦した場合に、ユーザ全体に対し推薦されたアイテムの種類数(DIV@3)を表す.この値をアイテムの評価件数ごとに集計した結果が図 2 であり、横軸はアイテムの評価件数を表す.SGD、BPRが提案手法であり、SVD、PMF、NMFが既存の代表的な行列分解ベースの推薦手法である.図より、提案手法では 80 件以下の比較的人気度の低いアイテムを、従来手法よりも多く推薦できていることがわかる.

通常の情報推薦システムでは、予測評価値の高いアイテムから順に推薦するが、ロングテールアイテムの推薦を想定して、予測評価値が一定以上の中で人気度の低いアイテムから推薦する戦略(ロングテール選択)について、ロングテールアイテム推薦における有効性について検証を行った、データセットを利用した実験の結果、従来の近傍ユーザベース協調フィルタリングにおいてもロングテール選択の有効性が確認されたが、評価一致率を近傍ユーザの計算に用いる提案手法と組み合わせた場合、その効果がより顕著であり、推薦精度を維持しながらより多様なア

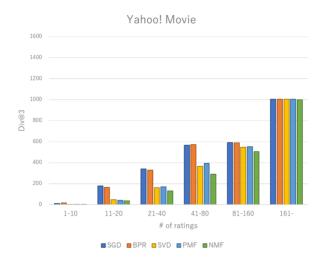


図 2. 実験結果の例

(4) 行動推薦

健康増進,観光を主な対象として,行動推薦に関する研究,システム開発を行った.主な研究成果を以下に示す.

- ・日常での行動推薦を行う推薦システムについて研究した.提案システムでは,日常生活における多様な行動を対象とするために,複数種類の推薦モジュールを実装し,各モジュールの推薦結果からバンディットアルゴリズムに基づき推薦行動を決定する.新たに開発したシミュレータを用いた評価実験を行った他,AIスピーカーを用いてプロトタイプシステムを実装し,実空間での動作検証を行った.
- ・健康促進活動を対象とし,日々の活動結果を可視化によりユーザにフィードバックするフレームワークについて研究した.異なる価値観を持つユーザは,フィードバックに対する反応が異なることを仮定し,4種類の異なる価値観に対応した可視化フィードバックを考案し,1か月間の継続利用を通じた評価実験を行った.
- ・スマートメータなどから取得可能な電力データから,居住者の行動を推定する技術について研究した.起床及び食事の時間を検出する手法を提案し,その結果に基づき独居高齢者宅から実際に取得した電力消費データを分析し,起床時間が国内平均に近い場合は自宅で3食摂る傾向にあることや,夕食時間のばらつきと就寝時間のばらつきの間には正の相関があるなどの知見が得られた.
- ・健康を考慮したレシピ推薦について研究した.栄養などに関して指定された条件を満たしつつ,調理手順や必要な食材など,作り方に関する点で多様なレシピを推薦する手法について提案した.
- ・観光スポットに関する口コミ情報を分析し,ユーザの気分に応じた観光スポットを推薦するシステムについて研究した.エリアの印象に関する単語辞書を構築し,各エリアに対する口コミ情報を分析してエリアの印象を推定する.クラウドソーシングによる調査やユーザ実験などにより評価を行い,提案システムの有効性を示した.
- ・観光などにおける経路の推薦を目的として,スポットと経路を統一的に考慮可能な観光経路推薦手法を研究した.スポット,経路の両方をエッジとして統一的に表現する手法を提案し,これを用いて定式化した最適化問題を効率的に解く解法についても研究した.データセットを用いた実験により,従来手法と同等の推薦精度でより高速に解が得られることを示した.

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計14件(うち査読付論文 14件/うち国際共著 4件/うちオープンアクセス 13件)

1 ・著名名 SHBATA Hiroki、 TAKAMA Yasufumi 2 ・ 論文標題 Proposal on Edge Vector-based Formulation of Sightseeing Route Recommendation Problem and Its Solution with Simulated Annealing 3 ・雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 ・ 最初と最後の頁 563-571 最載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 オープンアクセス 1 ・ 著名名 CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 2 ・ 論文信題 Development of Property Search System for Renovation 3 ・ 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 ・ 最初と最後の頁 3 ・雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 ・ 最初と最後の頁 3 ・雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 ・ 最初と最後の頁 815-822 最初級のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オープンアクセス 1 ・ 著名名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 ・ 論文標題 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 ・ 最初と最後の頁 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 ・ 最初と最後の頁 5 ・ 発行年 2018年 3 ・雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 7 ・ 最初と最後の頁 8 ・ 最初と最後の頁 9 しまた、その予定である) 9 に対しているでは、また、その予定である) 9 に対しているでは、また、その予定である) 9 に対しているでは、また、その予定である) 9 に対しているでは、また、その予定である) 9 に対しているには、また、その予定である) 9 に対しているには、また、その予定である) 9 に対しているには、また、その予定である) 9 に対しているには、また、その予定である) 9 に対しているには、また、その予定である) 9 に対しているには、また、その予定である) 9 に対しているには、またの見が表します。 またの表には、またの表には、またの表には、またの表には、また、その予定である) 9 に対しているには、またの表には、
2. 論文措題 Proposal on Edge Vector-based Formulation of Sightseeing Route Recommendation Problem and Its Solution with Simulated Annealing 3. 前誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 563-571 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 2. 論文措題 Development of Property Search System for Renovation 3. 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オープンアクセス 1. 著名名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2. 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3. 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 7. 表名名 4. 巻
Proposal on Edge Vector-based Formulation of Sightseeing Route Recommendation Problem and Its Solution with Simulated Annealing 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 563-571 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 7 - ブンアクセス カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 CHRO Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 2 . 報話名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オープンアクセス 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 7 オープンアクセス カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 4 . 巻
Proposal on Edge Vector-based Formulation of Sightseeing Route Recommendation Problem and Its Solution with Simulated Annealing 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 563-571 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト調別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 ###################################
Proposal on Edge Vector-based Formulation of Sightseeing Route Recommendation Problem and Its Solution with Simulated Annealing 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 563-571 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト調別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 ###################################
Solution with Simulated Annealing 3. 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 563-571 提載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 2. 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 3. 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 1. 著名名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2. 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3. 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 506-513 最新記文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 オープンアクセスとしている(また、その予定である)
3. 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 563-571 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 CHENG Pin Chiek, KOBAYASHI Kenichiro, HASHIMOTO Takehiko, SAITO Kazunori, TAKAMA Yasufumi 2. 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 3. 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オープンアクセス 1. 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng, Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2. 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3. 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6. 最初と最後の頁 506-513 最新版文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 国際共著 日本名名 オープンアクセスとしている(また、その予定である)
Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 563-571 振觀論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563
掲載論文のDDI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 オープンアクセス 1 . 著者名 CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 3 . 辨誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics #報義文のDDI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 辨誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2018年 21 . 養者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2
掲載論文のDDI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.31.1_563 オープンアクセス 1 . 著者名 CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 3 . 辨誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics #報義文のDDI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 辨誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2018年 21 . 養者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2
A TO TO TO TAKAMA Yasufumi
Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 1. 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2. 論文標題
Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 1. 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2. 論文標題
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 相戦論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2018年 7 . 単独
1. 著者名
1. 著者名
1 . 著者名 CHENG Pin Chieh, KOBAYASHI Kenichiro, HASHIMOTO Takehiko, SAITO Kazunori, TAKAMA Yasufumi 30 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815
1 . 著者名 CHENG Pin Chieh, KOBAYASHI Kenichiro, HASHIMOTO Takehiko, SAITO Kazunori, TAKAMA Yasufumi 30 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815
CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 30 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 ### Ration Property Search System for Renovation 8
CHENG Pin Chieh、KOBAYASHI Kenichiro、HASHIMOTO Takehiko、SAITO Kazunori、TAKAMA Yasufumi 30 2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 ### Ration Property Search System for Renovation 8
2 . 論文標題 Development of Property Search System for Renovation 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 4 . 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 4 . 巻 2018年 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス 1 . 著者名 オープンアクセス 1 . 著者名 1 . 著者名
Development of Property Search System for Renovation 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 7 a オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 22 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 7 a オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名
Development of Property Search System for Renovation 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オープンアクセス 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 4 . 参 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 4 . 参 5 . 発行年 2018年 4 . 参 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス 1 . 著者名
Development of Property Search System for Renovation 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 815-822 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 7 a オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 22 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 7 a オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名
3 . 雑誌名 Journal of Japan Society for Fuzzy Theory and Intelligent Informatics 信託の有無 https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 4 . 巻 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 「表読の有無 https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 4 . 巻
But Bu
But Bu
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オーブンアクセス 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics おもいるののDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス 1 . 著者名 1 . 著者名 1 . 著者名 1 . 著者名
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 オーブンアクセス 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics おもいるののDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス 1 . 著者名 1 . 著者名 1 . 著者名 1 . 著者名
Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 1 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 本記
https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 有
https://doi.org/10.3156/jsoft.30.6_815 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス 1 . 著者名 4 . 巻 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 4 . 巻
1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 4 . 巻
1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 4 . 巻
1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 4 . 巻
1 . 著者名 Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 2 . 論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6 . 最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 4 . 巻
Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 22 2.論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 5.発行年 2018年 3.雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6.最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 1.著者名 4.巻
Takama Yasufumi、Chen Yu-Sheng、Misawa Ryori、Ishikawa Hiroshi 22 2.論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 5.発行年 2018年 3.雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 6.最初と最後の頁 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 1.著者名 4.巻
2.論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3.雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 506-513 査読の有無 有
2.論文標題 Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 3.雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス 1.著者名 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 506-513 출読の有無 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名
Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名
Analyzing Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 506-513 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名
3.雑誌名 Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 4.巻
Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 506-513 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 4 . 巻
Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 506-513 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 4 . 巻
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 4 . 巻
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 4 . 巻
https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 4 . 巻
https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 4 . 巻
https://doi.org/10.20965/jaciii.2018.p0506 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 4 . 巻
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 4.巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 4.巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 4.巻
1 . 著者名 4 . 巻
服部俊一,三澤遼理,石川博,高間康史
2.論文標題 5.発行年
価値観モデルを適用した協調フィルタリングによるハイブリッド型推薦手法 2017年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁
知能と情報 628-636
7.55 - 17.55
- #8 ##
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
·
10.3156/jsoft.29.4_628 有
·

1 . 著者名 Yasufumi Takama, Wataru Sasaki, Takafumi Okumura, Chi-Chih Yu, Lieu-Hen Chen, Hiroshi Ishikawa	4.巻 E100-D
2 . 論文標題 Walking Route Recommender for Supporting a Walk as Health Promotion	5 . 発行年 2017年
2. 松兰夕	6 早知 ト 早後 の 百
3.雑誌名 IEICE Trans. on Information and Systems	6.最初と最後の頁 671-681
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1587/transinf.2016DAP0006	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 菜耂夕	4 . 巻
1.著者名 高間康史,藤本泰成,山口亨,新田收,寄崎恵美子,糀谷香美	4 · 중 29
2.論文標題	5.発行年
介護老人福祉施設におけるセンサログを用いた介護スタッフ・入居者の活動分析	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
知能と情報	619-627
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.3156/jsoft.29.4_619	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. #40	4 44
1 . 著者名 Takahiro Nishigaki, Katsumi Nitta, Takashi Onoda	4.巻
2.論文標題	5.発行年
An Interactive Independent Topic Analysis for a Mass Document Review Service	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
The Review of Socionetwork Strategies	47-69
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1007/s12626-018-0018-5	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
オープンデクセスとしている(また、との子をとめる)	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
Y. Takama, T. Yamaguchi, S. Hattori	20
2.論文標題	5.発行年
Personal Value-based Item Modeling and Its Application to Recommendation with Explanation	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Advance Computational Intelligence and Intelligent Informatics	867-874
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.20965/jaciii.2016.p0867	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1.著者名	4 . 巻
Y. Takama, X. Xu, C. Yu, Y. Chen, L. Chen	20
2	F 整仁左
2 . 論文標題	5 . 発行年
Classification of Street Lighting Conditions for a Community-Centric System	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Advance Computational Intelligence and Intelligent Informatics	875-881
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20965/jaciii.2016.p0875	有
10.20303/ jac111.2010.po0/3	H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	•
1 520	4 . 巻
1 . 著者名	
西垣,新田,小野田	31
2.論文標題	5.発行年
制約付き独立話題分析	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人工知能学会論文誌	D-FB1_1-13
ハエルはアム岬へ吹	D-101_1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1527/tjsai.D-FB1	有
10.102.77 ()041.15 151	7
オープンアクセス	
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
T. Nishigaki, K. Nitta, T. Onoda	11
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2017年
Incremental Learning of Independent Topic Analysis	2017#
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Computer, Electrical, Automation, Control and Information Engineering	206-212
	200 2.12
Indiana I	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	
	有
	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著該当する
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1.著者名	国際共著 該当する 4.巻
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1.著者名	国際共著 該当する 4.巻
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 373-381
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 373-381 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 373-381
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 373-381
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14923/transinfj.2019DEP0007	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 373-381 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 高間 康史 , 坂元 陽亮 , 柴田 裕樹 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦 2 . 論文標題 レビューからの感情情報抽出に基づくエリアの印象推定 3 . 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	国際共著 該当する 4 . 巻 J103-D 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 373-381

1 英名	1 2'
1 . 著者名	4. 巻
Yu Shirai, Shunichi Hattori, Yasufumi Takama	²⁴
2 . 論文標題	5 . 発行年
Lifestyle Analysis from Household Electricity Consumption Data	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	214-220
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jaciii.2020.p0214	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4.巻
Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu	24
2 . 論文標題	5 . 発行年
User Modeling from Review Browsing History for Personal Values-based Recommendation	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	326-334
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20965/jaciii.2020.p0326	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
「学会発表〕 計43件(うち招待講演 2件/うち国際学会 19件)	
1.発表者名 Yasufumi Takama	

2 . 発表標題

Modeling Personal Values: Application to Recommender Systems

3 . 学会等名

ISCIIA&ITCA2018(招待講演)(国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

Yu Shirai, Shunichi Hattori, Yasufumi Takama

2 . 発表標題

Analyzing Resident's Lifestyle from Household Electricity Consumption Data

3 . 学会等名

ISCIIA&ITCA2018 (国際学会)

4 . 発表年

2018年

白井佑,服部俊一,高間康史 2.発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3.学会等名 JSA12018 4.発表者名 柴田祐樹,高間康史 2.発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3.学会等名 JSA12018 4.発表年 2018年 1.発表者名 秦馳,高間康史	Pin Chieh Cheng, Yasufuni Takama 2. 発表標題 Finding Diversifed Recipes in Terms of Cooking Methods and Ingredients 3. 学会等名 ISCIIANTCA2018 (国際学会) 4. 発表年 2016年 1. 発表者名 白井佑,服邪使 - 高間康史 2. 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3. 学会等名 JSAI2018 4. 発表年 2016年 1. 発表者名 柴田祐樹,高間康史 1. 発表者名 柴田祐樹,高間康史 2. 発表標題 辺ペケトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3. 学会等名 JSAI2018 4. 発表標題 辺ペケトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3. 学会等名 JSAI2018 4. 発表年 2016年	
2 . 発表標題 Finding Diversifed Recipes in Terms of Cooking Methods and Ingredients 3 . 学会等名	2 . 発表構題 Finding Diversifed Recipes in Terms of Cooking Nethods and Ingredients 3 . 学会等名 ISCI IASITCA2018 (国際学会) 4 . 発表年 D井伯、規部後一、高間康史 3 . 学会等名 2 . 発表構題 変と観光ファークからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 3. 学会等名 3. 学会等名 3. 学会等名 3. J . 学会等名 3. J . 学会等名 3. J . 学会等名 3. J . J . J . J . J . J . J . J . J	
Finding Diversifed Recipes in Terms of Cooking Methods and Ingredients	Finding Diversifed Recipes in Terms of Cooking Wethods and Ingredients 3 . 学会等名 ISCIIANITOZO18 (国際学会) 4 . 発表者	
Finding Diversifed Recipes in Terms of Cooking Methods and Ingredients	Finding Diversifed Recipes in Terms of Cooking Methods and Ingredients 3 . 学会等名 ISCI IAM TOA2018 (国際学会) 4 . 発表者名 白井伯 . 服部使一 . 高間康史 2 . 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 21. 発表構題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推編手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推編手法の提案 1 . 発表構題 フリンドルを用いた定式化による経路推編手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2 . 発表構題 グリーブを対象とした台議不要な観光スポット推編手法の提案 3 . 学会等名 素能 . 高間康史 3 . 学会等名 素能 . 高間康史	
3 . 学会等名 ISCI IASITCA2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 白井佑 , 展部使 - , 高間康史 2 . 発表標題 家庭電力データからのライフバターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表標題 4 . 発表標題 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 JSAI 2018	3 . 学会等名 1851 IA8 ITCA2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 白井佑 , 服部使 - 、高岡康史 2 . 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 衆田祐樹 , 高岡康史 2 . 発表標題 ジペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 1 . 発表者名 衆稿 , 高岡康史 2 . 発表者名 衆稿 , 高岡康史 2 . 発表者名 - 2018年 1 . 発表者名 - 2018年 2 . 発表者名 - 2018年 3 . 学会等名 - 2018年 4 . 発表者名 - 2018年	
1 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 白井佑 . 服部俊一 . 高間康史 2 . 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名	1851 IABITCA2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 日井佑・服部後 - , 高間康史 2. 発表構題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 共田祐樹、高間康史 2. 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 未聴、高間康史 2. 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3. 学会等名 素制・高間康史 3. 学会等名 素制・高間康史 3. 学会等名 まを持ち、一般表表生 3. 学会等名 まを持ち、一般表表生 3. 学会等名 まがし、高間原史 3. 学会等名 まがし、高間原史 3. 学会等名 まがし、高間原史 4. 発表年 3. 学会等名 まが回路16944 4. 発表年 5. 対象表生	Thang prototica Recipes in Terms of cooking methods and ingredients
1 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 白井佑 . 服部俊一 . 高間康史 2 . 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名	1851 IABITCA2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 日井佑・服部後 - , 高間康史 2. 発表構題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 共田祐樹、高間康史 2. 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 未聴、高間康史 2. 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3. 学会等名 素制・高間康史 3. 学会等名 素制・高間康史 3. 学会等名 まを持ち、一般表表生 3. 学会等名 まを持ち、一般表表生 3. 学会等名 まがし、高間原史 3. 学会等名 まがし、高間原史 3. 学会等名 まがし、高間原史 4. 発表年 3. 学会等名 まが回路16944 4. 発表年 5. 対象表生	
4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 白井佑 , 服部俊一 , 高間康史 2 . 究表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表標題 2018年 1 . 発表標題 2018年	4 . 発表者 2018年 1 . 発表者名 白丼佑 . 服部使 高間康史 2 . 発表標題 家蔵電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田裕樹 . 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 衆馳 . 高間康史 2 . 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 素態 . 高間康史 2 . 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案	
1 . 発表者名 白井佑 , 服部俊一 , 高間康史 2 . 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表標題 2 . 発表標題	1	
1 ・発表者名 白井佑・服部俊一・高間康史 2 ・発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 ・学会等名 JSA12018 4 ・発表年 2018年 1 ・発表者名 柴田祐樹・高間康史 2 ・発表標題 辺ベクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 ・学会等名 JSA12018 4 ・発表年 2018年 1 ・発表者名 京島順康史 2 ・発表標題 2 ・発表者名 京島原史 3 ・学会等名 3 ・学会等名 3 ・ 発表年 2018年 1 ・発表者名 京島原史 2 ・発表標題	1 . 発表者名 日井佑 , 服部俊一 , 高間康史 2 . 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高関康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 乗馳 , 高関康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
白井佑,服部俊一,高間康史 2.発表標題 家庭電力データからのライフバターン分析に関する検討 3.学会等名 JSA12018 4.発表年 2018年 1.発表者名 柴田祐樹,高間康史 2.発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3.学会等名 JSA12018 4.発表年 2018年 1.発表者名 秦馳,高間康史	自井佑、服郎俊一、高間康史 2. 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 柴田祐樹、高間康史 2. 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 乗馳、高間康史 2. 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3. 学会等名 類19回S1GAM 4. 発表年	
2 . 発表標題 家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史	2. 発表標題 家庭電力データからのライフバターン分析に関する検討 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 柴田祐樹,高間康史 2. 発表標題 ロペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3. 学会等名 JSA12018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 東馳,高間康史 1. 発表者名 東馳,高間康史 3. 学会等名 東馳,高間康史 3. 学会等名 東馳,高間康史 4. 発表者名 東馳,高間康史 3. 学会等名 東馳,高間康史 4. 発表者名 東馳,高間康史 4. 発表者名 東馳,高間康史 4. 発表者名 東馳,高間康史 5. 発表者名 東馳,高間康史 4. 発表者名 東馳,高間康史 5. 発表者名 東馳,高間康史 4. 発表者名 東シースボット推薦手法の提案 5. 発表者名 東永春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春	
家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名	家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回S1GAM 4 . 発表年	
家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名	家庭電力データからのライフパターン分析に関する検討 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回S1GAM 4 . 発表年	
3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹,高間康史 2 . 発表標題 辺ベクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表名名 秦馳,高間康史	3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表構題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案	
JSAI2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題	JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 素勉 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
JSAI2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題	JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 素勉 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史	4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史	2018年 1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表構題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
 発表者名 柴田祐樹,高間康史 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 ・学会等名 JSAI 2018 ・発表年 2018年 ・発表者名 秦馳,高間康史 	1 . 発表者名 柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
柴田祐樹 , 高間康史 2 . 発表標題	 柴田祐樹,高間康史 2.発表標題	2018年
2 . 発表標題 辺ベクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史	2 . 発表標題 辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSA12018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
 辺ベクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 	辺ベクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	未由怕倒,同间戾丈
 辺ベクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 	辺ベクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
3 . 学会等名 JSAI2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史	3. 学会等名 JSAI 2018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 秦馳,高間康史 2. 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3. 学会等名 第19回SI GAM 4. 発表年	
JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題	JSAI 2018 4.発表年 2018年 1. 発表者名 秦馳,高間康史 2. 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3. 学会等名 第19回SIGAM 4. 発表年	辺ペクトルを用いた定式化による経路推薦手法の提案
JSAI 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題	JSAI 2018 4.発表年 2018年 1. 発表者名 秦馳,高間康史 2. 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3. 学会等名 第19回SIGAM 4. 発表年	
4 . 発表年 2018年	4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題	
2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題	2018年 1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	JSAI2018
1.発表者名秦馳,高間康史	1 . 発表者名 秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	4 . 発表年
秦馳,高間康史 2.発表標題	秦馳 , 高間康史 2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	2018年
2 . 発表標題	2 . 発表標題 グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	1.発表者名
	グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	秦靶,尚间康 史
	グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案 3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
グルーブを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案	3 . 学会等名 第19回SIGAM 4 . 発表年	
/ // / とうぶつしに自成工文の他/6/ハウノ工作同工/4ツルス	第19回SIGAM 4.発表年	グループを対象とした合議不要な観光スポット推薦手法の提案
	第19回SIGAM 4.発表年	
	第19回SIGAM 4.発表年	
	2018年	
2018年		2018年
·		

. 77
1.発表者名 柴田祐樹,高間康史
小田 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
2 : 元代構造 辺ベクトルを用いた経路推薦問題の解法における目的関数の改善に関する提案
第21回SIGAM
4 . 発表年 2019年
2010 1
1.発表者名
Takahiro Nishigaki, Takashi Onoda
2.発表標題
Labeling of topic in Independent Topic Analysis using Search Engine
3.学会等名 A2IC2018(国際学会)
AZ102010(国际子云)
4.発表年
2018年
1.発表者名
Takahiro Nishigaki, Takashi Onoda
Web Search Engine Based Naming Procedure For Independent Topic
3.学会等名
ICWST2019 (国際学会)
│
- 1 - 元収中 - 2019年
1.発表者名
今村 優斗, 西垣 貴央, 小野田 崇
2.発表標題
2.発表標題 SVMに基づく適合フィードバックにおける探索空間縮小効果の実験的分析
The state of the s
JSA12018
4.発表年 2018年
2018年

1.発表者名 山本 健太,西垣 貴央,小野田 崇
2.発表標題 コーザ制化付き対立さい Find 知识 における ままり の 節吹 ル
ユーザ制約付き独立話題分析 Separate Link制約における制約の簡略化
3.学会等名
JSA12018
2018年
1 改丰之夕
1.発表者名 西垣 貴央,小野田 崇
2 . 発表標題
データ追加に基づく独立話題分析の話題変化検知手法の検討
3.学会等名
JSA12018
2018年
1.発表者名 Hiroki Shibata, Yasufumi Takama
THIORI OHISATA, TAGATAIII TARAIIA
2 . 発表標題
Behavior Analysis of RBM for Estimating Latent Factor Vectors from Rating Matrix
ICIEV2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Yasufumi Takama, Yu-Sheng Chen, Ryori Misawa, Hiroshi Ishikawa
Tasarami Tanama, Tu-Sheng Olich, Nyori Misawa, Ilifoshi Tshinawa
2.発表標題
Potential of Personal Values-Based User Modeling for Long Tail Item Recommendation
2
3 . 学会等名 IWACIII2017 (国際学会)
4 . 発表年 2017年
2VII T

1. 発表者名 Yeys Shiraishi, Yasufuni Takama 2. 発表標題 Proposal on Matrix-Sased Collaborative Filtering Using Personal Values 3. 学会等名 1001,2017 (国際学会) 4. 発表者名 Yosuko Sakamoto, Yasufuni Takama 2. 飛表報題 Proposal of Santiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3. 学会等名 1001,12017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 未表者名 Yasufuni Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 飛表構題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM UU2018 Workshop on WI12018 (国際学会) 4. 発表年 2015年 1. 泉表者名 田中 女規、周陽 康史 2. 飛表構題 提続的課題支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提業 3. 学会等名 JSk12017 4. 飛表年 2017年	
2 . 集表権題 Proposal on Natrix-Based Collaborative Filtering Using Personal Values 3 . 李会章名 18C1A2017 (国際学会) 4 . 集表年 2017年 1 . 発表者名 Yosuke Sakanoto, Yasufumi Takama 2 . 発表権題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 李会章名 18C1A2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 英表報題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 李会奇名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 景表年 2018年 1 . 発表者名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 景表年 3 . 李会奇名 田中 友現、高間 康史 2 . 発表権題 解析的重動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 李会奇名 SJSJ2017 4 . 景表年	
Proposal on Matrix-Based Collaborative Filtering Using Personal Values 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表者名 Yosuke Sakamoto, Yasufuni Takama 2 . 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表者 Yasufuni Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表模題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ADM UIZO18 Workshop on Wil2018(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 聚表者名 HT . 聚表者名 HT . 聚表者名 HT . 聚表程	Yuya Shiraishi, Yasufumi Takama
Proposal on Matrix-Based Collaborative Filtering Using Personal Values 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表権名 Yosuke Sakamoto, Yasufuni Takama 2 . 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表在 2017年 1 . 発表者名 Yasufuni Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表模題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ADM UIZO18 Workshop on Wil2018(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 聚表者名 田中 友現、高間 康史 2 . 発表模題 機械的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSH 2017 4 . 聚表年	
Proposal on Matrix-Based Collaborative Filtering Using Personal Values 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表権名 Yosuke Sakamoto, Yasufuni Takama 2 . 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表在 2017年 1 . 発表者名 Yasufuni Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表模題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ADM UIZO18 Workshop on Wil2018(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 聚表者名 田中 友現、高間 康史 2 . 発表模題 機械的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSH 2017 4 . 聚表年	
Proposal on Matrix-Based Collaborative Filtering Using Personal Values 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表権名 Yosuke Sakamoto, Yasufuni Takama 2 . 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 INCLA2017(国際学会) 4 . 発表在 2017年 1 . 発表者名 Yasufuni Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表模題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ADM UIZO18 Workshop on Wil2018(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 聚表者名 田中 友現、高間 康史 2 . 発表模題 機械的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSH 2017 4 . 聚表年	2
3 . 学会等名 INCLADIT (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yosuke Sakamoto, Yasufumi Takama 2 . 発表構題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 INCLADIT (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表構題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 MCMI UIZO18 Workshop on WIIZO18 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友現、高問 康史 2 . 発表構題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 LSR表情題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案	
1. 発表名名	rioposal on wattix-based corraborative riftering osing refsonal values
INCLAZOIT (国際学会) 1. 発表名名	
INCLAZOIT (国際学会) 1. 発表名名	
INCLAZO17 (国際学会) 1. 発表名名	3 学会笔名
4. 発表者名 1. 発表者名 Yosuke Sakamoto, Yasufumi Takama 2. 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3. 学会等名 INCIA2017(国際学会) 4. 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4. 発表者名 由中 友規、高間 康史 2. 発表精器 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3. 学会等名 JSAI2017 4. 発表年	
1 . 発表者名 Yosuke Sakamoto, Yasufumi Takama 2 . 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 INCLACOTY (国際学会) 4 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規、高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	THE TAX
1 . 発表者名 Yosuke Sakamoto, Yasufumi Takama 2 . 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 INCLACOTY (国際学会) 4 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規、高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	4.発表年
1 発表者名 Yosuke Sakamoto, Yasufumi Takama 2 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 子会等名 INCIA2017 (国際学会) 4 発表在 2017年 1 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 発表年 日中 友規、高間 康史 2 発表標題 健株的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 学会等名 JS4/2017 4 発表年	
Yosuke Sakamoto, Yasufumi Takama 2. 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3. 学会等名 INC1A2017 (国際学会) 4. 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 田中 友規、高間 康史 2. 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3. 学会等名 JSA12017 4. 発表年	
Yosuke Sakamoto, Yasufumi Takama 2. 発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3. 学会等名 INC1A2017 (国際学会) 4. 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 田中 友規、高間 康史 2. 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3. 学会等名 JSA12017 4. 発表年	1 举表者名
2.発表標題 Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3.学会等名 INCIAZO17 (国際学会) 4.発表年 2017年 1.発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shinizu, Hiroshi Ishikawa 2.発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3.学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4.発表年 1.発表者名 田中 友規、高間 康史 2.発表構題 維統的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3.学会等名 JSAI2017 4.発表年	
Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 IMCIA2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 田中 友規、高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSA12017 4 . 発表年	Todate Gatamoto, Tadatam
Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 IMCIA2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 田中 友規、高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSA12017 4 . 発表年	
Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 IMCIA2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 田中 友規、高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSA12017 4 . 発表年	
Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database 3 . 学会等名 IMCIA2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 田中 友規、高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSA12017 4 . 発表年	2 . 発表標題
3 . 学会等名 INCIA2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 維統的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSA12017 4 . 発表年	Proposal of Sentiment-based Tourist Spot Recommendation System Using RDF Database
1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表構題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表構題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	
1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表構題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表構題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	
1 . 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表構題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表構題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	
4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2. 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3. 学会等名 JSAI2017 4. 発表年	
2. 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 田中 友規、高間 康史 2. 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3. 学会等名 JSAI2017 4. 発表年	IWCIA2017(国際学会)
1. 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 田中 友規、高間 康史 2. 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3. 学会等名 JSAI2017 4. 発表年	
1. 発表者名 Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2. 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3. 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2. 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3. 学会等名 JSAI2017 4. 発表年	
Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	2017年
Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa 2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	
2 . 発表標題 Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	
Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	Yasufumi Takama, Suzuto Shimizu, Hiroshi Ishikawa
Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	
Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	
Personal Values-based User Modeling from Browsing History of Reviews 3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	2 22 主
3 . 学会等名 ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年	
ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	Personal values-based user modeling from Browsing History of Reviews
ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	
ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	
ACM IUI2018 Workshop on WII2018 (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017	3 学会笔名
4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017	
2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	Num 1012010 WOLKSHOP OII WITI2010 (国际子公)
2018年 1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	<i>4</i> 発表年
1 . 発表者名 田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	
田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	
田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	
 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年 	1.発表者名
継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	
継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	
継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	
継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	田中 友規, 高間 康史
3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年	田中 友規, 高間 康史
JSA12017 4.発表年	田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題
JSA12017 4.発表年	田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題
JSA12017 4.発表年	田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題
4.発表年	田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案
	田中 友規, 高間 康史 2.発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3.学会等名
	田中 友規, 高間 康史 2.発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3.学会等名
2017年	田中 友規, 高間 康史 2.発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3.学会等名 JSAI2017
	田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年
	田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年
	田中 友規, 高間 康史 2 . 発表標題 継続的運動支援のための価値観を考慮した情報可視化システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年

1.発表者名 北谷 光希, 高間 康史
2 . 発表標題 状況に応じた楽曲推薦に向けたソーシャルデータ分析
3.学会等名 JSAI2017
4 . 発表年 2017年
2011—
1.発表者名 白石雄也,高間康史
2 . 発表標題 価値観に基づく行列演算ベース情報推薦システムの提案
3 . 子云寺台 JSAI 2017
4 . 発表年 2017年
2017年
1.発表者名 坂元 陽亮, 高間 康史
2.発表標題
2.発表標題 RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3.学会等名
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3.学会等名 JSAI2017
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3.学会等名
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年 2017年
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年 2017年
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 柴田 祐樹 , 高間 康史 2 . 発表標題
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSA12017 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 柴田 祐樹 , 高間 康史
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 柴田 祐樹 , 高間 康史 2 . 発表標題 スポット推薦を伴う経路推薦手法の提案
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 柴田 祐樹 , 高間 康史 2 . 発表標題 スポット推薦を伴う経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 第18回JSAI SIG-AM研究会
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI2017 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 柴田 祐樹 , 高間 康史 2 . 発表標題 スポット推薦を伴う経路推薦手法の提案 3 . 学会等名
RDFデータベース構築によるユーザの気分に応じた観光スポット推薦システムの提案 3 . 学会等名 JSAI 2017 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 柴田 祐樹 , 高間 康史 2 . 発表標題 スポット推薦を伴う経路推薦手法の提案 3 . 学会等名 第18回JSAI SIG-AM研究会 4 . 発表年

1.発表者名 子田,陳,高間
2.発表標題 LDAの適用によるレビュー記事からの価値観モデリングに関する考察
3 . 学会等名 JSAI 2016
4.発表年 2016年
1.発表者名 吉田,高間
2.発表標題 ストリームデータモニタリングにおける確認タイミングの判断支援インタフェースの提案
3.学会等名 JSAI2016
4.発表年 2016年
1.発表者名
高間,清水
2 . 発表標題 レビュー閲覧履歴からの価値観モデリングを用いた情報推薦システム
3 . 学会等名 第13回SIG-AM
4.発表年 2016年
1.発表者名 Y. Chen, S. Koda, L. Chen, Y. Takama
2.発表標題 Proposal of Attribute-Sentiment Model for Review Analysis
3.学会等名 ICIRA2016 Workshop(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1.発表者名
Y. Takama, R. Misawa, Y. Chen, S. Hattori, H. Ishikawa
2 . 発表標題 Improving Performance of Personal Values-based Collaborative Filtering Based on Hybrid Approach
······································
3.学会等名
3.字云寺名 ICIRA2016 Workshop(国際学会)
4 . 発表年 2016年
·
1 . 発表者名 W. Chen, Y. Chen, R. Misawa, L. Chen, Y. Takama
2 . 発表標題 Speeding Up of Offline Experiment Using Personal Values-based Collaborative Filtering with GPU-based Implementation
Speeding up of offittie Experiment using refishing values-based corraborative intering with ord-based imprementation
3.学会等名 ICIRA2016 Workshop(国際学会)
4.発表年 2016年
1 . 発表者名 Y. Takama, R. Misawa, Y. Chen, S. Hattori, H. Ishikawa
2.発表標題
Proposal of Hybrid Recommender Systems Based on Personal Values-based Collaborative Filtering
3 . 学会等名 ISCIIA2016(国際学会)
4.発表年
2016年
1 . 発表者名
W. Chen, Y. Chen, R. Misawa, L. Chen, Y. Takama
2. 発表標題 Proposal of GPU-Based Implementation of Personal Values-Based Collaborative Filtering Including Validation Process
The second secon
3.学会等名
ISCITA2016(国際学会)
4. 発表年 2016年
2010T

1.発表者名 二漢 言問
三澤,高間
2. 発表標題
価値観モデルベース協調フィルタリングのハイブリッド推薦システムへの拡張
3.学会等名
第9回WI2研究会(招待講演)
4.発表年
2016年
1. 発表者名
T. Nishigaki, K. Nitta, T. Onoda
2.発表標題
Incremental Learning of Independent Topic Analysis
2
3.学会等名
19th International Conference on Machine Learning and Data Analysis (国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
T. Nishigaki, K. Nitta, T. Onoda
2.発表標題
Interactive Independent Topic Analysis for service
3. 学会等名
ICDM 2016 Workshop(国際学会)
4.発表年
4. 光衣牛 2016年
1
1.発表者名
西垣,新田,小野田
2、
2 . 発表標題 データ追加に基づく独立話題分析の提案
ノーノに別に全ノトは立山起力制以使米
3 . 学会等名
JSAI2016
4 . 発表年
2016年

1.発表者名
Y. Takama, H. Shibata, Y. Shiraishi
2 . 発表標題
Introduction of Model Relationship Learning for Matrix-based Collaborative Filtering Employing Personal Values
3 . 学会等名
3 . 子云寺石 IWACIII2019 (国際学会)
4 . 発表年
2019年
1. 発表者名
H. Shibata, Y. Takama
2 . 発表標題
Improvements on Probability Model for Sightseeing Route Recommendation Method Employing Generalized Formulation in terms of
Edges
3 . 学会等名
3 : 子云寺古 TAAI2019 (国際学会)
4.発表年
2019年
1. 発表者名
高間 康史 , 坂元 陽亮 , 小林 賢一郎 , 橋本 武彦
2 . 発表標題
ソーシャルメディアからの印象抽出に基づく類似エリア判定手法の提案
3 . 学会等名
JSAI2019
4 . 発表年
2019年
1. 発表者名
柴田 祐樹 , 高間 康史
2 . 発表標題
辺ベクトルによる定式化を用いた柔軟な経路推薦手法の提案
3 . 学会等名
3 · 子云寺古 JSA12019
4.発表年
2019年

1.発表者名 J. Zhang, Y. Takama
2.発表標題 Proposal of Context-aware Music Recommender System Using Negative Sampling
3 . 学会等名 JSAI 2019
4.発表年 2019年
1.発表者名 柴田 祐樹 ,高間 康史
2 . 発表標題 観光経路推薦問題におけるスポットの価値推定法の提案
3 . 学会等名 第14回WI2研究会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 高間 康史, 白石 雄也, 柴田 祐樹
2 . 発表標題 価値観モデリングを利用した協調フィルタリングにおけるモデル関係学習の提案
3 . 学会等名 第15回WI2研究会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 張 錦程 , 柴田 祐樹 , 高間 康史
2 . 発表標題 コンテキスト情報に基づく楽曲推薦システムにおけるネガティブサンプリングの効果検証
3 . 学会等名 第15回WI2研究会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 白井 佑,柴田 祐樹,高間 康史
2 . 発表標題 居住空間におけるユーザコンテキストを用いた行動推薦システムの提案
3.学会等名 第15回WI2研究会
4 . 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Jin-cheng Zhang, Yasufumi Takama (Yukio Ohsawa, Katsutoshi Yada, Takayuki Ito, Yasufumi Takama, Eri Sato-Shimokawara, Akinori Abe, Junichiro Mori, Naohiro Matsumura Eds.)	4 . 発行年 2020年
2.出版社 Springer	5.総ページ数 ³⁰⁴
3.書名 Advances in Artificial Intelligence: Selected Papers from the Annual Conference of Japanese Society of Artificial Intelligence (JSAI 2019)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

6.研究組織

6	. 丗允組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	服部 俊一 (Hattori Shunichi)	一般財団法人電力中央研究所・エネルギーイノベーション創 発センター・主任研究員	
	(00771916)	(82641)	
研究分担者	小野田 崇 (Onoda Takashi)	青山学院大学・理工学部・教授	
	(40371661)	(32601)	